



学校だより

みどりの

学ぶ当事者 支える当事者 緑野小学校

○考え伝え合う子

○心豊かな子

○元気な子

○やりぬく子

令和5年7月1日

成長の夏

校長 遠藤 昌司

沖縄などは既に梅雨明けをしていますが、ここ数日は真夏のような日差しの強い日が続いていました。学校の西側にアジサイが咲いていますが、そろそろ盛りを終えようとしています。関東地方が夏本番を迎えるのも、もうじきでしょうか。

先月から水泳学習が始まっています。機械の故障でプール開きの日がずれ込んでしまいましたが、梅雨の合間を縫いながら実施しているところです。これまで3年間のブランクがあるため、4年生以下の児童にとっては、学校のプールに入るのが初めてとなることを踏まえ、各学年とも指導内容のレベルを見直しながら、安全第一で学習を進めています。

6月の終わりには二日間にわたり、6年生が茶道体験教室で、多胡記念公園の「慈緑庵」にお邪魔しました。今年も茶道会「大和みどり会」の岩本宗翠会長の熱意のもと、実現することができました。梅雨時でありながら天候に恵まれましたが、直々にご指導くださった岩本会長をはじめ社中の皆さんは、暑い中にもかかわらず和装でお迎えくださり、日本の文化の雰囲気存分に味わわせていただくことができました。

お茶の先生から「茶会は真心を込めておもてなしをするものであるとともに、その場集った皆で、よい空間を一緒に作り上げるものです」というお話もいただきました。相手を思いやる茶道は「相手意識」そのものであるとは思っていましたが、単にお客として終わるものではないということは、「当事者意識」にもかかわることなのだということを知る機会となり、教育活動においての示唆をいただくことにもなりました。

また、ひとクラスではありますが、これまで中断していたアメリカンスクール「シャーリーランナム小学校」との交流もありました。茶席を共にし、それぞれが慣れない英語と日本語を使いながら、これもまた貴重な経験をすることができました。

「慈緑庵」での茶道体験教室は、この地域にある緑野小学校ならではの機会ですので、「大和みどり会」の皆さんにご支援いただきながら、これからも継続していければと思っています。同じように、登下校時の見守りをはじめ、ご近所の方との日常的な触れ合いなどを通して、この地域ならではの育ちを子ども達はしています。今月末には夏休みに入ります。これまでの制限も解除される中、地域での行事なども実施されることかと思えます。学校とは違う場でのさまざまな経験を子ども達が重ねていく機会をいただく中で、この夏の成長へとつなげてくれることを期待しています。